

# 皆さんの声を議会へ



当市議会では、6月・9月・12月の各定例会において市政全般にわたって事業の執行状況や将来に対する方針などについて質問し、執行機関から報告・説明などを求める一般質問が行われています。一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれていることについて問いかけ、議員自らが提言を行い、政治姿勢を示すことができる大事な議員活動の場です。

本会議場での議員一人当たりの質問時間は30分以内となっています。今議会では2日間にわたり行われ、12名の議員が質問しました。その一部をお知らせいたします。

質問者	質問項目
柴田 文男 (会派清新)	市長の4期目へ向けた課題
安樂 良幸 (新政会)	ふるさと納税 災害時における市民への通報手段 住民票等のコンビニ交付導入 乳幼児等医療費に対する助成制度の拡大 住宅建設・改修促進事業の継続
山本 正信 (会派みどり)	農政部廃止後の成果 担い手農家の人手不足対策 農業生産額の向上対策
堀 重雄 (公明党)	伴走型相談支援 高齢者支援 下水道汚泥処理
水口 典一 (会派清新)	PFI手法の活用 駅前再開発事業 子育て施策の充実 市立病院の医師確保
三上 裕久 (公明党)	企業版ふるさと納税 スマイルビルの今後 不登校児童生徒数の増加を踏まえた対策 奨学金返還支援制度 開西団地再編 学校給食費(令和5年1月～3月分)の全額支援 都市機能誘導区域 都市機能誘導区域内の いじめ認知件数の増加を踏まえた対策
東元 勝己 (会派清新)	産後ケア応援室の設置 美術自然史館の運営
木下八重子 (会派みどり)	幼児の遊び場の設置
佐々木和代 (新政会)	低所得者に対するサービス付高齢者向け住宅の整備 児童虐待防止 滝川市立病院の医療提供体制
寄谷 猛男 (共産党)	新文化施設建設 新年度の予算編成 物価高騰緊急見舞金の創設 加齢性難聴による補聴器購入への助成 地域カフェの整備 滝川東公園の再整備 学校の給食時間の設定
田村 勇 (新政会)	防犯カメラの増設計画 除雪、排雪の考え方 スキー・スノーボード学習 児童生徒の虐待対策
荒木 文一 (会派清新)	定年延長に関するアンケート調査 スポーツ関連設備 定年延長制度の概要 公園の利用に関する制約の有無 普通交付税調整額の追加交付

## 第4回定例会 一般質問から

市長の4期目へ向けた課題について



柴田 文男 (会派清新)



**問** 先の市政報告会で4期目への出馬表明をされたようだが、次期まちづくりへの具体的な考えを伺う。

**答** 人口減少社会の中、持続可能なまちづくりを進めるため財政健全化に取り組み、基金の大幅な積立を行えたほか、財政状況を示す各種指標についても改善傾向にあり、成果が出始めていると考えています。今後は政策の大きな柱として子育て支援の充実に努めたいと思っているほか、駅周辺のリノベーション、文化施設やふれ愛の里、温水プールなども課題だと認識しています。さらに教育施設の老朽化対策、高等学校の在り方にもしっかりと取り組みたいと考えます。いずれの課題も大変重要であり、皆様のご理解を得ながら進めていきたいと考えています。

乳幼児等医療費の助成制度について



安楽 良幸 (新政会)



**問** 中学生までの医療費助成を全国の90%以上の市町村が行っている現状の中、本市においては非課税世帯の小学生に限定した助成にとどまっている。本助成制度の対象を課税世帯まで拡大すべきと思うが、市長の考えを伺う。

**答** 本市では、すべての小学生を対象にした医療費の助成拡大に向け政策協議を重ねてきましたが、市の財政に大きな負担を伴うことから今まで実現できませんでした。この制度は一度始めると継続しなければいけないと思っており、その財源の裏付けを考えなければいけません。本市は近隣市町で活用している過疎債という有利な財源は使えませんが、子育て支援を充実したいという強い思いもあるので、医療費助成拡大を早期に実現すべくしっかりと検討します。

農政部廃止後の成果について



山本 正信 (会派みどり)



**問** 平成27年に農商工連携強化のため、経済部と農政部が統合して産業振興部が発足したが、その成果と農政部復活の可能性を伺う。

**答** 統合後、台湾への米の輸出、滝川地方卸売市場による農産物の輸出促進、夕張ツムラとの連携による薬用作物の栽培など一定の成果をあげていることから、現時点では今の体制を継続していきます。

**問** 農地の集積に伴い、今後さらに農業機械のオペレーター等の不足が懸念されるが対策を伺う。

**答** ICT技術の導入やドローンのシェアリングの取組を推進しています。また、JAたきかわサービスでは、てん菜の収穫作業を受託するコントラクター（請負）事業を開始しています。今後も農業者の負担軽減に向けた調査や検討をしっかりと行っていきます。

伴走型相談支援について



堀 重雄 (公明党)



**問** 伴走型相談支援の内容・取り組みについて伺う。

**答** 妊娠届出時、妊娠8か月頃、出産後の3回にわたり、保健師、助産師などが妊婦と面談を行い、出産・育児等の見通しを立てたり、産前・産後のサービス利用を一緒に検討、提案することで必要な支援等に切れ目なくつなげていき、全ての妊婦・子育て家庭に寄り添った支援を行うものです。

**問** 国はこの事業に対し、人件費も予算計上していると聞いているが、対応する人員の増員を図ることを考えているのか。

**答** 事業の詳細設計については、今後示されますが、既存の事業と新たに示される事業を分析・比較する中で人員の過不足等についてしっかりと把握しながら、最善の施策を考えていきたいと思っております。

子育て施策の充実について



水口 典一 (会派清新)



**問** 来年、子ども家庭庁が発足予定となっており、子育て世代は大きな期待を寄せているが、どのような支援策を検討しているかを伺う。

**答** 子ども家庭庁の発足により、新規のモデル事業も予定されていますが、情報を早く入手し、本市として何ができるかをしっかりと捉えながら、必要な支援を必要な方に届けられるよう、積極的に取り組んでいきます。

**問** スマイルビルが閉鎖となり来春で2年となるが、今後の駅前周辺の活用方法として、どのような選択肢があると考えているのかを伺う。

**答** 現時点において具体的な選択肢は決まっていますが、例えば民間住宅の誘導、公共機能を一部備えた拠点施設など民間開発も含め、柔軟な考え方をもち、引き続き検討します。

奨学金返還支援制度について



三上 裕久 (公明党)



**問** 貸与された奨学金の返還を本市が一部負担することで、若者の市内企業への就職を促すことへの見解を伺う。

**答** 今後の雇用動向や社会情勢の変化、導入済みの他市での有効性をみながら見極めていきたいと考えています。

**問** 都市機能誘導区域を設定するにあたって、スマイルビルを今後どうするのか見解を伺う。

**答** 駅前の代表的な建物であり、駅からベルロード周辺における機能の充実、再整備を要望する意見があり、今後、判断していきます。

**問** 物価高騰の折、保護者負担軽減のため令和5年1月～3月分の給食費を全額支援することへの見解を伺う。

**答** さらなる物価の高騰が続けば、何らかの対応を検討します。

## 第4回定例会 一般質問から

### 美術自然史館の管理運営について



東元 勝己（会派清新）



**問** 空調が故障したままの美術自然史館では、猛暑のときなど来館者や職員の健康状態、そして作品への影響が懸念される。今後の対策について伺う。

**答** 美術自然史館は空調設備の故障以降、夏場における施設の最適な温度管理ができず、来館者にはご不便をおかけしています。美術作品への影響については、展示作品以外は館内にある複数の収蔵庫で管理し、特に重要とされる美術作品や資料については、外気の影響を受けにくい構造の収蔵庫で保管しています。しかし、こうした環境が長く続く影響は少なからず及んでくるものと考えます。滝川市の財産として次世代へ継承できるよう、設備の改修や施設の再編も視野に入れ、適切な管理運営について検討を進めています。

### 幼児の遊び場について



木下八重子（会派みどり）



**問** 令和4年第2回定例会での答弁で、第2期滝川市子ども子育て支援事業計画において、天候に左右されることなく通年で遊べる施設の設置を検討することとしている旨の話があった。去る10月、厚生常任委員会で視察した石川県小松市のカブッキーランドは、駅前の活性化と子育て環境の充実が高レベルで達成されており、他県も含め多くの住民が利用する人気の施設で、民間の力を活用して整備されている。市長の設置に向けての考えを改めて伺う。

**答** 現在検討中の「公共施設個別施設計画」が策定され、方向性が決まったなかで、小松市の運営方法なども参考に、どのような運営方法が良いのかを含め、可能性を探っていきます。

### 児童虐待防止について



佐々木和代（新国会）



**問** 令和3年度の児童相談所への相談件数は全国で207,659件と過去最高となっており、北海道においても増加している。11月は「児童虐待防止月間」だったが、本市における児童虐待防止の取り組みについて伺う。

**答** 11月はイオン滝川店において、児童虐待防止のシンボルマークのオレンジリボンと一緒に「こども家庭相談室」、「岩見沢児童相談所」及び「滝川警察署」の電話番号が記載されたポケットティッシュを2,000個配布し、児童虐待問題への関心喚起と積極的な通報を促すための啓発活動を行ったほか、市役所1階ロビーや図書館における啓発展示、関係機関等へチラシ、ポスターの掲示依頼を行うとともに、広報たきかわやホームページでの周知啓発を図りました。

### 市民の声が反映される施設づくりについて



寄谷 猛男（共産党）



**問** 新しい文化施設の建設は市民の意見を十分に反映させながら進めるべきだが、市の考えを伺う。

**答** ホール機能や複合化する機能など利用する多くの方にとって使い勝手の良い施設となるよう、また将来にわたり末永く市民から愛される施設となるよう、市民や有識者など様々な方々の意見をいただきながら検討していく予定です。なお、市民意見の募集時期につきましては、今後検討します。

**問** 気軽に立ち寄れる地域カフェの開設について伺う。

**答** 高齢者の介護予防、地域づくりなど様々な効果が期待できることから、市としても取り組みを推進しています。自由に集える通いの場の開設・運営を希望する市民の方々と情報共有を重ねながら協働して進めていきます。

### 防犯カメラの増設計画等について



田村 勇（新国会）



**問** 駅前付近と三楽街付近に防犯カメラの設置が決まったが、今後の増設計画について伺う。

**答** 現在、市民一丸となって犯罪抑制にかかわる様々な取り組みが進められていますが、防犯カメラについては、設置箇所やその効果について検証し、滝川警察署や防犯団体等と情報交換をしながら、今後の進め方について検討したいと考えています。

**問** 除排雪の苦情に対するマニュアルはあるのかを伺う。

**答** 除排雪の苦情対応については、地理的条件や近隣環境による要因等の様々な要素をもって、複合的な状況判断かつ臨機応変な対応が必要となり、マニュアル的な対応が難しい一面もあることから、個別に都度現場を確認したうえで対応しています。

### 公園利用の制約の有無について



荒木 文一（会派清新）



**問** 市内公園の遊具、スポーツ設備の設置の経緯について伺う。

**答** 公園改修や新設の際には地域説明会を行い、いただいたご意見やアンケート結果等を基に地域希望に沿った設置に努めており、市の意向だけで判断は行っていません。

**問** 隣接住民の生活に支障が出る等の問題が発生した場合、公園管理者である滝川市としてどのような対応が可能かを伺う。

**答** 公園利用に関する様々なご意見、ご要望が寄せられることがあります。ご指摘のように公園と隣接する住民の方々にとって生活の支障となるような問題発生には注意喚起のための看板設置によりマナーを守るよう呼びかけを行います。改善されない場合には、市職員の巡回や教育委員会、町内会と連携し改善対応を図っていきます。